

第11回 技術経営・イノベーション大賞 応募用紙記載要領

記載上の留意事項

- (1) 応募用紙は（一社）科学技術と経済の会（JATES）のホームページからダウンロードして使用してください。
- (2) 応募用紙は、頭紙部分（応募件名、会社／団体名、推進者、連絡者、他薦）を除いて、概要～備考までを4ページ以内に要領よくまとめてください。4ページを超える場合は、参考情報として別用紙（フリーフォーマット）に記載願います。本対応が難しい場合は、お受けできない場合がございますのでご了承ください。
- (3) 記載内容が複数の記載項目で同じ内容となる場合、重複の記載は必要ございません。
- (4) 応募用紙の該当箇所に写真、図や表を挿入しても構いません。

記載要領

(1) 応募件名

- ・ イノベーションの内容が簡潔にわかるような件名を記載してください。

(2) 会社／団体名

- ・ 会社名、団体名等の事業者名を記載してください。

(3) 推進者

- ・ 本イノベーション推進者の方の情報を記載してください。3名以上の場合は枠を拡大して記載してください。

(4) 連絡者

- ・ 本件に関して事務局から連絡する際の窓口の方を記載してください。

(5) 他薦の場合

- ・ 推薦者の情報を記載してください。特に推薦者がいなければ記載不要です。（当会からのご案内で応募される場合は、本欄は記載不要です。）

(6) 概要

- ・ 本欄で本イノベーション内容の概要とポイントがわかるように、概要は500字以内で、かつ写真、図や表を含めて1ページ以内でまとめてください。

(7) ①社会的意義

- ・ なぜこのイノベーションに取り組んだのか、着手の時期、当時の社会背景・環境、動機などをわかりやすく具体的に（5W1H）、またその効果（社会・生活・産業・文化等をどう変えたのか、SDGs・新型コロナウイルス対策への貢献、急変する環境下での新たな価値創

造等)について記載してください。

(8) ②シーズやシーズの活用

- ・ 研究開発した技術シーズ、または組合せた技術シーズについて記載してください。また外部との連携や産学・産産・産官連携がある場合は、その内容を記載してください。

(9) ③イノベーションによって生み出した具体的な内容

- ・ 本イノベーションによって生み出した変革がある場合は、該当する項目の“有”に○印(または無を削除)をし、「その変革の前・後」を具体的にわかりやすく記載してください。特に変革が無い場合は“無”に○印(または有を削除)をしてください。なお、生み出しつつある変化の場合は、その旨を記載してください。
- ・ 該当する項目のみ記載いただき、無理して全項目を埋める必要はございません。秀でている項目を評価します。

【一例】

<製品の変革：新しい製品・サービスの投入>

- ・ 従来 100Kg だった重量を、10Kg に軽量化した。
- ・ 本機能○○○を備えた製品としては世界初である。
- ・ 従来 A、B、C、D を組合せて実現されていたものが本製品(サービス)1つで実現されるようになった。

<顧客の変革：新しい市場の開拓>

- ・ 従来の顧客は企業中心だったが、一般コンシューマーまで顧客層を拡大した。
- ・ 斬新なサービスであったため新しい顧客層○○○が生まれた。

<生産方式の変革：新しい生産方式・既存ラインの画期的活用>

- ・ 従来は高温化学プロセスであったが、常温バイオプロセスを実現した。
- ・ 従来あった機械加工部分をほとんどなくした。
- ・ ソフトウェア開発のサイクルが大幅に短縮された。
- ・ 画期的な機能変化を実現した製品であるが、既存の生産ラインで製造できるよう○○○の工夫を取り入れた。
- ・ 自社で生み出した生産技術が社会における生産技術の変化を生み出した。

<供給源・調達の変革：新たな供給・調達元の創出>

- ・ 従来は戦略物資で高価な○○○を調達していたが、普遍的な材料○○○へ切り替えた。
- ・ 環境汚染物質である○○○の使用をゼロとした。

<ビジネスモデルの変革：新たなビジネスモデルの創出>

- ・ 従来は多くの介在者が存在するサプライチェーンであったが、シンプルで最短のサプライチェーンを実現した。
- ・ 従来の単品売りから、ライフサイクル収益(消耗品、修理監視、改良 更新等)重視に変更した。
- ・ プラットフォーム型のビジネスモデルに変換し、上部搭載のアプリケーション

が複数動くようにした。

<組織・マネジメントの変革：新たな組織・マネジメントの創出>

- ・ プロジェクトを推進する専任の推進室（社長直属、独立予算）を設置した。
- ・ 個人の裁量に委ねる自由研究開発時間を勤務時間の 20%へ拡大した。
（基礎研究重視へ研究開発方針をシフト）
- ・ 複数事業部連携を促進させるために、ダブルカウント管理会計制度に変更した。

(10) ④事業化・アウトカム

- ・ 事業化に至るまでの課題・乗り越えた困難、およびそれをどのように克服したかを記載してください。推進者らが自ら実施した克服策、ならびに会社組織やマネジメントによって克服した取り組み（例えば方針変更等）を記載してください。
- ・ イノベーションによって新たに生み出した販売数量、売上高と雇用者数について、過去5年間の累積と単年度の両方を記載してください。事業化して5年を経過していない場合、直近の累積値と今後の予測値を合わせた5年分を単年毎に記載してください。記載が難しい場合はオーダー（桁数）レベルで構いませんので記載ください。事業化されていない場合は想定値とその根拠を記載してください。本応募の審査のためだけに記載いただける場合は、「本数値は審査のみに利用し、他では利用不可」と記載ください。本審査のみの記載でも不可の場合は、その旨記載してください。

(11) 競合あるいは類似の事業や技術

- ・ 世の中に、本事業と競合するもしくは類似している事業や技術があれば記載してください。

(12) 今後の展開

- ・ 今後の展開・展望について簡潔に記載してください。

(13) 参考資料・公表資料

- ・ 応募案件に関する補足説明が必要な場合は、原則、電子的にその内容が閲覧できるよう、その URL を本欄に記載してください。もし、URL での対応が困難な場合は、別途電子データでお渡し願います。また、公表資料（新聞雑誌等への掲載、ご講演、学術論文等）があれば、媒体名、件名、時期を記載してください。可能であればそれらが閲覧できる URL を記載してください。

(14) 受賞歴

- ・ 本件で過去に他団体等の表彰を受けたことがある場合は、その内容（表彰制度名、賞名、受賞年月）を記載してください。

(15) 備考

- ・ 14項までで記載できなかった内容があれば本欄に記載してください。